

乙訓平和委員会ニュース

発行年日 2023年5月25日 No.450 発行・乙訓平和委員会 編集責任者・米重節男
電話・FAX 075-932-3546 MAIL heiwaotokuni@gmail.com

G7政治ショーは岸田首相の「大成功」だった！ 世界分断と戦争継続拡大で大失敗の会合内容！ 核廃絶「橋渡し」は1945年に戻ってやり直ししか？

主要7カ国首脳会議（G7広島サミット）は、ウクライナのゼレンスキー大統領も参加して、世界中が注目する会議となりました。

参加したG7各国とEU、招待された9カ国のトップが広島に集ったことは、被爆地での会議としていくつかの特徴を示しています。

終わってみると、議長として会議を主催した岸田首相は、広島選出の議員・被爆国日本の首相として、核なき世界を唱えて「大成功」だったとの評価があります。政治ショーには成功したようですが、会議の内容には「平和象徴の地、広島」で、価値観で世界の分断を深めました。

ウクライナ戦争の拡大と長期化を選択したと言えます。「核なき世界」も、日本が保有国と非保有国の「橋渡しを step by step」でということの一端が見えたようです。首脳陣の原爆資料館見学、慰霊碑に献花し原爆ドームを見る、被爆者の話を聞くなど、初めてのことが並びました。しかし、被爆者や広島市民が異口同音に求めた「核兵器の廃絶」は無く、「核兵器を使わせないことを継続する」として、核保有国の特権を認めるNPT体制の維持と核抑止力論の展開です。

今回の会議を点検して下表にしてみました。

| 初めて実現したこと(岸田首相には成果のこと) | |
|------------------------|--|
| 1 | 原爆資料館見学（40分でオバマ大統領の10分を越え、核保有4カ国を含む現首脳が見学） |
| 2 | 原爆ドーム視察（芳名録への記帳には、首脳個人の感想が伺える） |
| 3 | 被爆者の話を全首脳が聞いた（もっと長く、多くの被爆者の声を聴いてほしいとの声も） |
| 4 | 原爆慰霊碑への献花と平和公園を歩いた（被爆死した人が眠っている土地） |
| 5 | 「核軍縮広島ビジョン」発表（G7サミットで核軍縮をテーマにしたものは初。内容は核保持） |
| 6 | 韓国人原爆慰霊碑に日韓両首脳が献花（韓国大統領が初めて参拝） |
| 矛盾したこと | |
| 1 | 「核兵器のない世界」実現 ⇔ 核兵器禁止条約には触れず無視 |
| 2 | 「露・中・北朝鮮の核は問題」「威嚇・使用は許されない」⇔「G7の保有は防衛的」「核抑止力で有効」 |
| 3 | 「核兵器が使われなかったことの継続」⇔ 核兵器廃絶が被爆者・市民の声 |
| 4 | ゼレンスキー大統領：出席要請を受けて来た ⇔ 日本：相手から出席の要望があった |
| 5 | ブラジル・ルラ大統領：ゼレンスキー氏を待っていた ⇔ ゼレンスキー大統領：ルラ氏が来なかった |
| 6 | 核兵器不拡散 ⇔ インドネシア・ジョコ大統領(ASEAN議長国)：核兵器の破壊 |

(文責：米重節男) (2面につづく)

G7ホテル会議室の窓から見える侵略戦争の出発地、旧陸軍棧橋

広島で開かれたG7首脳会議は、広島市の南端で広島湾に突き出た位置にある宇品島（元は島だったが現在は陸続きで半島状態）の先端に建つホテルで開かれました。このホテルは、コロナ禍以前は、原水禁世界大会の時に京都代表団の宿泊先にもなっていました。

今回注目したのは、テレビで写されたG7首脳が一堂に会している場面です。大きなガラス窓の外には、広島湾の一部が映っています。この映像を見ると、窓からは半島の付け根にある旧陸軍棧橋が見えると思われま

す。日本の侵略戦争の出発点になった所です。

宇品港は、日清戦争から太平洋戦争が終わるまで、多くの兵士を送り出した港です。日本から戦場に行く船に乗るための棧橋が残っています。今は公園の一部になっていますが、旧陸軍棧橋です。

この棧橋から舩（はしけ）などで沖合に停泊する輸送船に乗り込み、中国大陸や南方へと送り出していた所です。日本が引き起こした侵略戦争で動員された兵隊は、ほとんどが宇品から出て行きました。

G7会議に出席した首脳に、岸田首相はそのようなことを説明したのでしょうか。

（文責：米重節男）



サミットの警備で全国の警察が広島に集結

サミットの厳重警備の為、全国の警察が広島に動員されていました。市電にも2人の警官が乗って警戒していました。確認しただけでも、沖縄・高知・愛知・神奈川・福島・秋田の各県警、大阪府警がわかりました。

平和公園の周辺は木々を切り、シートで柵をして覆い隠しています。

住民生活に大きな影響がでており、当日は仕事にならないので休暇をとって、休むという人もありました。

目隠しシート



平和大橋を進む愛知県警の車両2台

（文と写真：米重節男）